

No.とプログラム名	No.35 『なんだろう』の森への大冒険！ ～子どものための哲学カフェ
実施日・回数	8月7日（水）13：30～15：30 1回実施
会場	【戸塚区】 とつか区民活動センター・会議室
参加児童数	8人
企業・団体等名	アートの時間
参加の目的 (150文字程度)	「子どもたちがより豊かに生きるために」と『横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業～アーティストが学校へ』にコーディネーターとして約16年間関わらせていただいているが、最もシンプルな表現活動としての哲学対話の中にも、みんなで何かを創る楽しさがあるということを紹介したいという思いで、参加させていただいた。

プログラム内容（子どもたちが体験したこと）

当たり前を問い直す作業の中で、正解がない問題について、他者の意見をよく聞き、自ら考え、よりよい方向へ進むプロセスを体験した。

具体的には参加児童が提案した「モノは生きているのか？」「生きるとは？」というテーマに沿って深い対話を行った。

当日の流れ

- 1 13時30分～13時45分：互いを知り合う
- 2 13時45分～14時15分：当たり前を問い直すとはどういうことか、芸術作品を用いて、意見を出し合いながら、哲カフェの手法を体験
- 3 14時15分～15時35分：本日のテーマを出し、賛否分かれ、対話を深める
- 4 15時35分～15時45分：感想を言い合う



「集めているもの」などを語りながら互いを知り合う



藤田昭子氏（造形作家）の作品を鑑賞し、これは何かを考え、作品に自分たちなりの名前をつけてみる

